

■ 日漢協トピックス



「薬用作物 重点品目(カノコソウ・シャクヤク) 研修会・説明会・相談会」を開催

2024年10月3日(木)、4日(金)の2日間にわたり、薬用作物産地支援協議会(薬産協)の主催で薬用作物の重点品目(カノコソウ・シャクヤク)に関する研修会および説明会・相談会が松本市において開催された。

1日目の3日(木)に開催された安曇野みらい農園での研修会には、生産団体や自治体、報道関係等29名が参加された。

一団は、まず同農園農場長の奥原聖人先生や生薬国内生産検討班の兀下敏幸先生より薬用作物の栽培についてのレクチャーを受けた。その後、あいにくの雨模様ではあったが、農園に場所を移し、シャクヤクやカノコソウの畑を見学した。参加者は苗の収穫現場や畑の様子を熱心に観察し、質問も多数挙がる等、高い関心を寄せていた。



【奥原先生のレクチャーを受ける参加者】



【シャクヤク(苗)の収穫の様子を観察する参加者】

翌4日(金)は、松本市立博物館(1階講堂)において、現地参加またはオンライン参加によるハイブリッド形式により説明会(座学)が開催され、会場に17名、リモートで27名、計44名が参加された。

説明会は、農林水産省農産局 果樹・茶グループ 生産専門官 梶 恵美先生がリモートにてご挨拶された後、以下の内容にて進められた。



【梶 恵美先生】



【説明会会場の様子】

➤ 「薬用作物の国内生産拡大の取り組み」
日漢協 生薬国内生産検討班 班長 小柳 裕和先生

➤ 「カノコソウ・シャクヤクの種苗増殖実証圃の取り組み」
日漢協 生薬国内生産検討班 兀下 敏幸先生

➤ 「卸からみた薬用作物」
長野県生薬株式会社 顧問 齊藤 邦昭先生

➤ 「薬用しゃくやくの栽培」
薬産協 専門相談員 飯田 修先生
(新潟県農業総合研究所 中山間地農業技術センター
専門研究員 諸橋 修一先生の代理で説明)

➤ 「富山県におけるシャクヤク栽培の実際」
富山県薬事総合研究開発センター 薬用植物指導センター
田村 隆幸 先生



【会場の松本市立博物館】



【兀下 敏幸先生】



【小柳 裕和先生】



【齊藤 邦昭先生】



【飯田 修先生】

各講演が終了した後、質疑応答を兼ねた
ディスカッションが実施され、カノコソウや
シャクヤクをはじめとした薬用作物の栽培に
おける課題の検討や意見の交換等、活発に
交わされ、貴重な情報交換の機会となった。



【ディスカッションの様子】



【田村 隆幸先生】

その後、薬用作物の栽培に関心を持つ希望者を
対象に相談会が行われ、薬産協のメンバーや
今回の演者が熱心に対応していた。



【相談会の様子】